



# 2015年 KECセミナー

## 水素社会をもたらす新しい技術とビジネス ～水素発生、貯蔵・輸送から水素ステーション、FCVまで～

クリーンエネルギーとして期待される水素を本格的に活用する「水素社会」実現の取り組みが急ピッチで進んでいます。また、水素を燃料とする燃料電池自動車 (FCV) の発売は、その動きをより一層加速させています。今回のセミナーでは水素社会実現のキーテクノロジーである水素発生、貯蔵・輸送、供給、FCVを取り上げ、その現状、課題、今後の展望について、その分野の第一線で活躍の方を講師にお迎えし、ご講演頂きます。

<b>日時</b>	2015年7月9日[木] 10:00～16:45	<b>開催場所</b>	梅田スカイビル タワーウエスト36F スペース36L
<b>主催</b>	一般社団法人 KEC関西電子工業振興センター	<b>参加費</b> (消費税込)	会員/後援・協賛 : 5,000円 非会員 : 7,000円

### プログラム

10:00	開催の挨拶 KECセミナー企画WG 主査 岡本 昭夫
10:05 ～ 11:05	<b>[総論]</b> <b>水素社会と燃料電池 ～取り組みの現状と将来～</b> 株式会社KRI 常務執行役員 新エネルギーデバイス研究開発部長 佐々木 達佳 氏 従来水素は石油精製プロセスや工業プロセスで利用されてきたが、定置用や自動車用の燃料電池のエネルギー源として実用化されつつある。将来的には、燃料電池以外でも炭化水素系に代わるエネルギー源として期待され、実用化への取り組みが行われている。本講演では、水素をエネルギー源とする水素社会実現に向けた取り組みの現状と将来について概要を述べる。
11:10 ～ 12:10	<b>[水素発生・利用]</b> <b>運輸・民生・産業部門を繋ぐ水素エネルギーシステム</b> 国立研究開発法人産業技術総合研究所 省エネルギー研究部門 熱流体システムグループ グループ長 中納 暁洋 氏 我が国の水素エネルギー技術は運輸部門先行で開発が進められているが、これを民生部門、産業部門にも展開できれば水素社会の到来が早まり確固たるものとなる。各部門における水素エネルギーの融通性が高まると期待し、産総研で開発を進めている次世代の水素システム「統合型水素エネルギー利用システム」について紹介する。
昼食休憩	
13:20 ～ 14:20	<b>[インフラ1]</b> <b>有機ハイドライドを利用した水素の大規模貯蔵輸送技術 -" SPERA水素"<sup>®</sup>システム -</b> 千代田化工建設株式会社 技術開発ユニット 兼 水素チェーン事業推進ユニット 技師長 岡田 佳巳 氏 水素は爆発性の気体のため、そのまま大規模貯蔵輸送する場合は、災害時等に潜在的な危険性が高い燃料でもある。有機ケミカルハイドライド法は、ガソリン成分のトルエンに水素を固定したメチルシクロヘキサンとして、常温・常圧下の液体状態で貯蔵輸送できるため、貯蔵輸送時の危険性をガソリンレベルにまで低減できる特長を有している。本講演では千代田化工が本法に着目して開発した"SPERA水素"システムについて紹介する。
14:25 ～ 15:25	<b>[インフラ2]</b> <b>水素ステーション整備の動向と課題</b> 岩谷産業株式会社 中央研究所 部長 兼 水素エネルギー部 部長 理事 繁 森 敦 氏 2014年7月、日本初の商用水素ステーションが尼崎に開所、12月には燃料電池自動車「MIRAI」の市販が開始されるなど、水素社会実現に向けた動きが活発である。本講演では、次世代エネルギーの有力な候補がなぜ水素なのか、水素インフラ整備の動向と、普及に向けた課題は何かを中心に解説する。
休憩	
15:45 ～ 16:45	<b>[FCV]</b> <b>燃料電池自動車 (FCV) の開発動向と今後の展望</b> 技術研究組合 FC-Cubic 専務理事 大仲 英巳 氏 燃料電池自動車は、その地球環境への対応ポテンシャルから究極のエコカーとして非常に注目されており、昨年12月トヨタ自動車から市販が開始された。ここでは燃料電池自動車の特徴や意義と共に、市販化に至る技術開発や今後の普及拡大に向けた課題や取り組みなどについて紹介する。

※プログラムは、事情により変更になる場合があります。予めご了承ください。

<b>後援</b>	近畿経済産業局 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) 関西支部 地方独立行政法人大阪府立産業技術総合研究所 地方独立行政法人大阪市立工業研究所
<b>協賛</b>	一般社団法人大阪府技術協会 一般財団法人新エネルギー財団 一般社団法人日本真空学会 関西支部 センシング技術応用研究会 大阪府電磁波利用技術研究会 ニューセラミックス懇話会 新無機膜研究会 オムロン株式会社 シャープ株式会社 パナソニック株式会社 ホシデン株式会社 株式会社村田製作所

